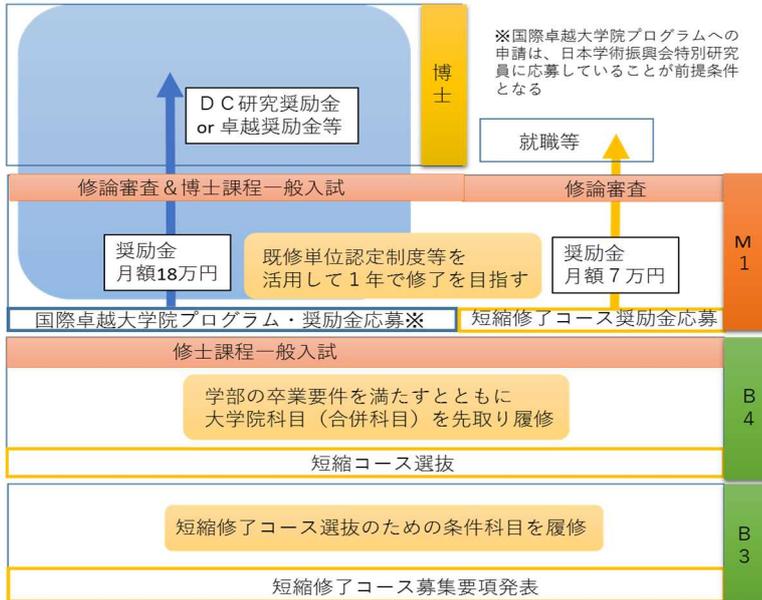


経済的支援が受けられます。(特に博士課程進学希望者は必見！)



修士号が1年で取得できます。

本学部の優秀な学生を対象に、ファスト・トラックの学修(博)一貫プログラムを展開する。



**【全体ガイダンス】**  
 日時：4月3日(水)  
 12時20分～  
 場所：8番教室

※進学するためには、通常の学生と同様、修士課程・博士課程一般入試を受験し合格する必要がある。  
 ※修士課程修了要件(単位取得、論文合格等)を満たせなかった場合は、2年間で修了を目指すことも可。

応募資格：2019年度に本学部を卒業見込みで、2020年度本研究科修士課程に入学を希望する者

応募手順：下記必要書類を2019年4月9日(火)までに大学院係に提出すること。応募にあたり、条件科目等については別紙を参照のこと。

面接：4月12日(金)時間と場所は後日掲示にて連絡する。

結果(内定)発表：4月18日(木)15時 掲示にて発表する。

分野	願書	研究計画書	推薦状	募集人数	ガイダンス
経済学	○	○	○	10名程度	4/3 全体ガイダンス後に同室
統計	○	○	○		4/3 全体ガイダンス終了後 1205号室(久保川研究室)
地域研究	○	○	×		4/3 全体ガイダンス終了後 4番教室
経済史	○	○	×		4/3 全体ガイダンス終了後 906号室(谷本研究室)
経営学	○	○	×		4/3 全体ガイダンス終了後 小島ホール5階会議室
数量ファイナンス	○	○	×		4/3 全体ガイダンス後に同室
備考	出願は1つの分野のみ。 願書：大学院係ホームページより入手する。 研究計画書：様式は任意。出願コース名、所属学科、学籍番号、氏名を記入し、A4サイズで3枚以内 推薦状：様式任意。 成績証明書：不要。				

## 別紙

コース	概要	応募条件 *応募時点で、単位取得済みであること。	備考
経済学	経済理論(ミクロ経済学・マクロ経済学)および数量分析(統計学・計量経済学)の学習をコアに据えて、その実証的応用として現代経済社会の諸問題の分析・研究や、その理論的発展として更なる経済理論の研究へと進んでいきます。	とくになし	
統計学	確率・統計の理論と実証に関して、より専門性の高い内容を学習する。	数理統計(優)、計量経済学(優)、専門科目1:統計、ミクロ経済学、マクロ経済学	
地域研究	現実の経済を歴史・理論・制度・思想も踏まえて多角的に理解する方法を学ぶ。	専門科目1:24単位以上、専門科目2:12単位以上	
経済史	経済史に関する先端的知見と、歴史研究を通じて経済をより深く理解する方法を学び、そのことを通じて経済に対する広い視野と確固として視点を持った人材を育成する。	専門科目1:24単位、ただし経済史IとIIは優、および経済原論、ミクロ経済学、マクロ経済学、統計のうち2科目で優	
経営学	現場から本質を掴み出し、論理的に説明し、問題解決に結びつける高度な専門能力を持った「フィールド・ベース・プロフェッショナル」を育成する。	(専門科目1)経営、会計、(専門科目3)経営管理Ⅰ、経営戦略Ⅰ、マーケティングⅠ、経営史Ⅰ、国際経営Ⅰ、技術経営Ⅰ、財務会計Ⅰ、管理会計Ⅰ、生産システムⅠ、雇用システムⅠ、フードシステムⅠ、経営科学Ⅰ、日本経営史Ⅰの15科目のうち、4科目取得済み、およびこれら15科目のうち、成績上位4科目平均が「良」以上、ないし「優」が2つ以上	
数量ファイナンス	特に数理的能力が優れた学生向けに、金融業界でグローバルに活躍できる人材を養成する。	数理統計学Ⅰ、計量経済学Ⅰ、数学Ⅰ、デリバティブなどの数理的科目を3科目以上履修し、全体的に優れた成績を修めていること。また、最低60単位取得済みであること。	